

ユニバーシアードで飯塚、銅メダル



7月10日(水)にロシアのカザンで第27回ユニバーシアード競技大会男子200メートルが行われました。

本学陸上競技部から日本代表として出場した飯塚翔太さん(法学部4年)が20秒33(追い風参考)で3位に入り銅メダルを獲得しました。

BOXING

ボクシング部

2012/11/22-25 日野市市民ふれあいホール

第82回全日本アマチュアボクシング選手権大会

- ▶ ライトウェルター級 優勝 服部 聖志 (法4)
- ▶ ライトウェルター級 2位 保田 克也 (商2)

Table TENNIS

女子卓球部

2012/11/7-12 ポーランド・ポズナン

ポーランドオープン

- ▶ 本戦 2回戦敗退 北岡 エリ子 (文3)
- ▶ 本戦 1回戦敗退 根本 理世 (文4)

2013/1/15-20 東京・代々木体育館

平成24年度全日本卓球選手権大会

- ▶ 女子ダブルス ベスト4 根本 理世 (文4)
- 北岡 エリ子 (文3)

2013/2/20-24 スウェーデン・エーレブロー

2013サフィール国際オープン

- ▶ 女子シングルスエリート 3位 多田 光希 (商2)

SKATE

スケート部 (アイスホッケー)

2012/12/9-15 ルーマニア・ブラショフ

2013IIHF 世界 U20 選手権 Div.2 GroupB

- ▶ 優勝 小泉 和也 (法1)
- 中島 彰吾 (総1)
- 古橋 真来 (法1)

2013/1/6-9 栃木・霜降アイスアリーナほか

第85回 日本学生氷上競技選手権大会

- ▶ 団体 優勝



第85回日本学生氷上競技選手権大会で2連覇を達成し、喜びを爆発させるスケート部

ボクシング部—中大生同志の決勝戦

本学ボクシング部は第18回東京オリンピックにおいて金メダリストを輩出するなど、実力と伝統を誇っています。2012年11月22日(木)から25日(日)に開催された、アマチュアボクシング日本一を決める第82回全日本アマチュアボクシング選手権大会のライトウェルター級において、中大生同志が決勝戦を行うという新たな伝統を刻みました。

競技生活の集大成として試合に臨んだ服部聖志選手(法学部4年)は、急成長著しい保田克也選手(商学部2年)と最終3ラウンドまで死闘を繰り広げ、最後まで攻め続けた服部選手が優勝を獲得しました。

ボクシング部は現在リーグ2部を戦っていますが、1部昇格を目指し挑戦を続けています。



第82回全日本アマチュアボクシング選手権大会ライトウェルター級決勝戦で準優勝した保田さん(左)と優勝した服部さん(右)

※ 学年は大会出場当時のものです。

写真提供:中大スポーツ新聞部

2013/2/10 千葉・昭和の森
第48回千葉国際クロスカントリー大会
▶ 一般男子 4km 優勝 三宅 一輝 (法1)

SWIMMING

水泳部

2012/9/15-17 岐阜メモリアルセンター長良川スイミングプラザ
第67回国民体育大会
▶ 成人男子 50m 自由形 優勝 塩浦 慎理 (法3)

2012/11/6-7 東京辰巳国際水泳場
国際水泳連盟 (FINA) 競泳ワールドカップ 2012
▶ 男子 50m 自由形 4位 塩浦 慎理 (法3)
▶ 男子 200m バタフライ 6位 笠井 一樹 (法3)
▶ 男子 400m 自由形 8位 瀧口 陽平 (法2)
▶ 男子 1500m 自由形 6位 瀧口 陽平 (法2)
▶ 女子 50m バタフライ 3位 黒木 満佐子 (文1)

2012/12/12-16 トルコ・イスタンブール
第11回世界短水路選手権
▶ 男子 4×100m リレー 5位 塩浦 慎理 (法3)
▶ 男子 1500m 自由形 7位 瀧口 陽平 (法2)

2013/2/23-24
第54回日本選手権水泳競技大会 競泳競技 (25m)
▶ 男子 50m 自由形 優勝 塩浦 慎理 (法3)
▶ 男子 100m 自由形 優勝 塩浦 慎理 (法3)

JUNKO
BASEBALL

準硬式野球部

2012/11/16-18 香川・レクザムスタジアムほか
第30回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会
▶ 全関東選抜 優勝 鈴木 雄也 (総4)
小貫 慧太 (商1)
高野 桂 (商3)



第54回日本選手権水泳競技大会で男子50m・100m自由形の2種目を制覇した塩浦さん

FENCING

フェンシング部

2012/11/7-9 京都・大山崎町体育館
第62回全日本学生フェンシング個人選手権大会(インカレ)
▶ 男子サーブル 優勝 前田 脩吾 (経3)

2012/11/9-11 京都・大山崎町体育館
第52回全日本大学対抗フェンシング選手権大会(インカレ)
▶ 男子サーブル 団体 優勝

ドイツ
2012年フェンシングジュニアワールドカップ
▶ 予選敗退 中島 哲雄 (商2)

2013/3/3-11 タイ・バンコク
2013年アジア・ジュニア・カデフェンシング選手権大会
▶ 男子サーブル 団体 3位 中島 哲雄 (商2)

自動車部—連盟史上初!全日本総合杯全種目制覇

全日本総合杯は「全日本学生ダートトライアル選手権大会」「全日本学生ジムカーナ選手権大会」「全日本学生自動車運転競技選手権大会(全日本フィギュア)」3種目の合計得点で競われます。全日本学生自動車連盟設立60周年の節目の年となった2012年、本学自動車部は連盟史上初となる全種目制覇を果たし、全日本総合杯を手にしました。

ダートトライアル、ジムカーナを制し、臨んだフィギュア。コースを猛スピードで駆け抜ける競技と異なり、規制線に沿ってミリ単位の精度で車を動かすとともに、同乗者に不快感を与えない(減点対象となるため)丁寧さを要求される競技です。11月18日(日)に日通自動車学校杉並校で実施された全日本学生自動車運転競技選手権大会には小型乗用の部Bに

森春陽さん(経済学部4年)・小型乗用の部Bに安津畑翔平さん(経済学部4年)・小型貨物の部Aに光本圭佑さん(法学部4年)・小型貨物の部Bに大小原俊さん(法学部3年)が出場し、森さんが優勝、光本さん・大小原さんが共に2位、安津畑さんが3位と全員が入賞し、フィギュア初優勝を決めました。また、女子小型乗用の部でも、細野日花里さん(法学部4年)が2位という好成績を残しました。

自動車競技は競技者のみならず、車輦整備などサポートメンバーも重要です。「最高の仲間だった」という安津畑主将の言葉が、チームの結束を表していました。

**BICYCLE
COMPETITION**

自転車競技部

2012/10/3-7 岐阜競輪場

第67回国民体育大会自転車競技

▶成人男子4km速度競争優勝 高士 拓也(法1)

2013/2/17 神宮外苑

第7回明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

▶クラス2B優勝 笠原 恭輔(商3)

SKI

スキー部

2013/1/6-12 長野・志賀高原西館山FIS公認コースほか

FIS(UNI)第28回全日本学生アルペンチャンピオンズスキー大会

▶男子回転優勝 宮本 慎矢(法2)

**RIFLE
SHOOTING**

射撃部

2012/10/11-14 埼玉・長瀬総合射撃場

第25回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会(インカレ)

▶団体(総合)優勝

▶団体50mRifle3×20W優勝

▶50mRifle3×20W優勝(2連覇) 清水 綾乃(商4)

2013/3/9,10 大阪・能勢町ライフル射撃場

平成24年度全日本ライフル射撃競技選手権大会

▶10mS40W優勝 小泉 茉優(商2)



第58回全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会でバーベルを頭上に持ち上げて静止する木下さん

**WEIGHT
LIFTING**

重量挙げ部

2012/10/27,28 さいたま市総合記念体育館

第57回全日本学生ウェイトリフティング新人選手権大会

▶62キロ級優勝

吉田 明紘(経2)

▶94キロ級優勝

大井 雅浩(商2)

2012/12/7-9 さいたま市総合記念体育館

第58回全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会

▶85キロ級優勝

木下 竜之(商3)

AUTO

自動車部

2012/11/18 東京・日通自動車学校杉並校

全日本学生自動車運転競技選手権大会(全日本フィギア)

▶団体(男子)優勝

▶男子小型乗用の部B優勝

森 春陽(経4)

平成24年度全日本ライフル射撃競技選手権大会で優勝した小泉さん(左)と3位入賞した清水さん(右)の笑顔



箱根駅伝—ゼロからの挑戦

2013年1月2日から3日に行われた第89回東京箱根間往復大学駅伝競走。今年も多くの応援に見送られて大手町をスタートしましたが、残念ながら途中棄権となってしまいました。課題を乗り越え、次回箱根駅伝出場に向けて挑戦する陸上競技部長距離ブロックの今をお伝えします。

◇チーム：新チームは代田修平選手(経3)が主将を務めます。新一年生を加え、初心に戻ってゼロから見直しを行っています。

◇練習：練習面では集団走を増やし、チームの結束を高める工夫を行っています。指導面でも

コーチ陣を強化。技術指導に加え、「勝つ」気持ちの強さを常に持つことを意識するよう心がけています。

◇成果：2月10日(日)に開催された「千葉国際クロスカントリー大会」一般男子4kmの部で三宅一輝選手(法2)が実業団選手にも先着し優勝しました。また、3月3日(日)開催の第16回日本学生ハーフマラソン選手権大会(立川シティハーフマラソン)には26選手が出場。予選会とほぼ同じコースにおいて7人が自己ベストを更新するなど、チーム力の底上げに手ごたえをつかんでいます。



2013箱根駅伝6区を駆け下りる代田さん

※ 学年は大会出場当時のものです。

写真提供：中大スポーツ新聞部